

キルトジャパン

針休めの針仕事

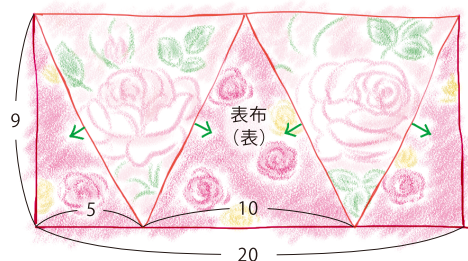
2013年3月 151号

ファスナーが持ち手になったミニポーチ 円座佳代

●用意するもの●

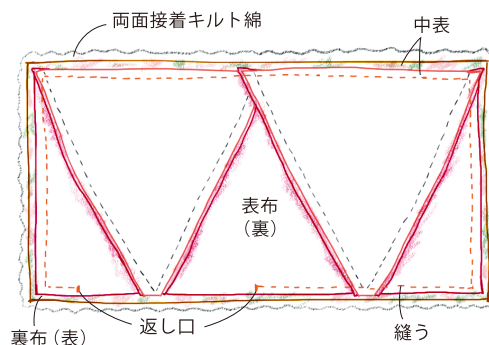
- ・表布・裏布…各15×25cm
- ・両面接着キルト綿…15×25cm
- ・15cmレースファスナー1本
- ・直径2cm飾りボタン2個
- ・直径0.8cmマグネットボタン一組
- ・直径1.2cmくるみボタン2個
- ・25番刺しゅう糸・丸小ビーズ各適宜

撮影/山本正樹
スタイリスト/井上輝美
イラスト/小池百合穂



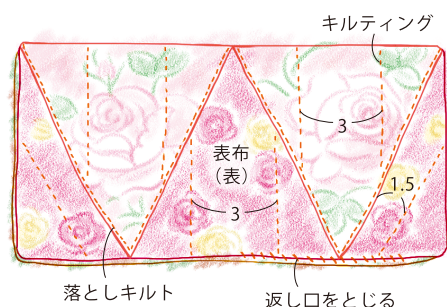
1

パッチワークをして表布を作ります。縫い線は端から端までを縫い切り、縫い代は矢印の方向に倒します。



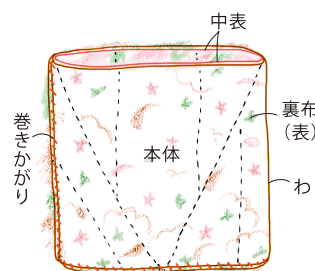
2

両面接着キルト綿の上に中表に合わせた裏布と表布を重ね、返し口を残して周囲を縫い合わせます。



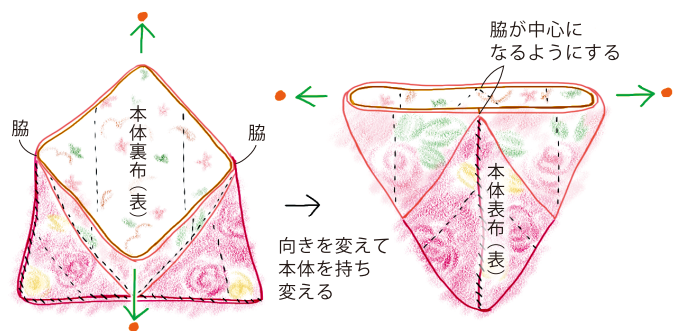
3

返し口から表に返して返し口を閉じ、形を整えてアイロンで両面を接着します。図のように落としキルトとキルトイングをします。



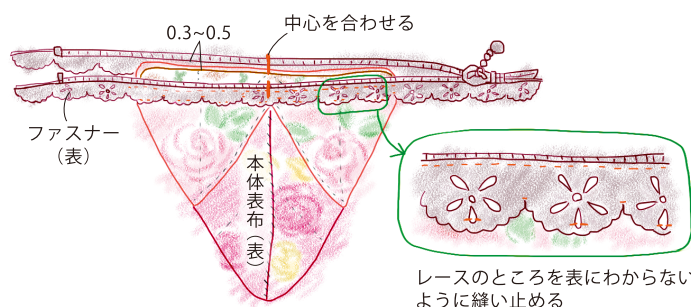
4

本体を中表に二つ折りにして、脇と底を巻きかがります。



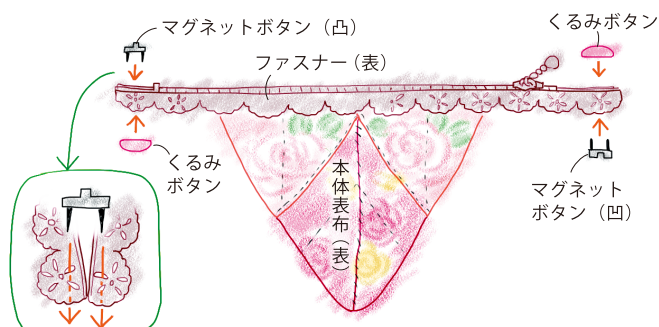
5

本体を表に返して、左右の脇が本体の中心にくるように持ち変えて袋口を合わせます。



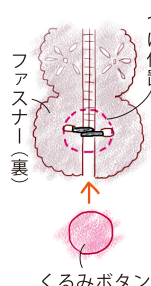
6

本体の中心とファスナーの中心を合わせてレースのファスナーを縫い止めます。本体袋口からファスナーを0.3~0.5cmほど上に出して縫い止めると開け閉めがスムーズにできます。



7

マグネットボタンをつける向きに注意してファスナーに止めつけます。レースの穴を利用してマグネットの爪を穴に差し込み、爪を折り曲げます。



8

くるみボタンを作り、折り曲げたマグネットボタンの爪を隠すように上に乗せてまっすぐに止めます。本体にフェザーステッチをしてビーズをつけ、飾りボタンを前後につけてでき上がりです。

レースの穴にマグネットの爪を差し込む

